

民俗芸能の継承—福島県請戸の田植踊りを事例に—

谷山 昌子

1. はじめに

福島県浪江町の請戸地区の茗野神社では、江戸時代末期から 300 年以上続くといわれる「安波祭」で海上安全と豊漁、方策を祈って田植踊りが奉納されてきた。この請戸地区は、東日本大震で全戸が流失という甚大な被害に襲われた。未曾有の地震と津波、加えて東京電力の原発事故による複合災害を受け、浪江町のほぼ全町が警戒区域、一部が避難指示解除準備区域とされ、全住民が県内外に避難した。全住民が不在であったにもかかわらず、安波祭は被災地のなかでも 2012 年にいち早く開催を果たし、2018 年に社殿があった場所で復活した。本報告では、浪江町の田植踊りを事例に、大災害やコロナ禍という危機に瀕しながらも、民俗芸能が継承されていくプロセスを検討する。

2. 「田植踊り」について

日本の稲作芸能には、中世に起源をもつ、一般に耕作はじめの儀礼的なかたちをとった「田遊び」といわれるものがある。「田植踊り」は、田植え作業がより舞踊化され新たに振付が施され、美しく抽象的に表現される（菊池 2017;80）。田植踊りは、江戸時代（17 世紀）の新田開発以降に広がったと考えられ、秋田県を除く東北 5 県に分布している。福島県では江戸時代初期に会津盆地で男子が女装して田植に関する歌を歌いながら戸毎にめぐることになり、江戸時代後期には踊りがつけられるようになったとされる。これが南会津の集落に広まり、やがて芸能化が進みながら浜通りまで広まったとされる（懸田 2017;41）。

3. 請戸の安波祭（安波さま）

安波祭が行われる茗野神社は、古く浮渡明神と称し、『延喜式神名帳』に記載されている、717～723 年（養老年中）に元正天皇が宮居を造立した古社である。祭神は高麗神を農業・漁業の神として人々から尊崇されてきた。請戸では、この例大祭で踊り、諸芸能の奉納が終わると神輿渡御となる（福島県教育委員会 2005 ; 124-125）。社前で踊った後は町内をめぐって民家の庭先で踊り、さらに請戸浜の祭場で神輿を前に踊る。海上安全と法要、そして方策を祈る祭りで「安波さま」として親しまれている。

4. 東日本大震災による被害

特に東北地方における被害が甚大であった東日本大震災で、請戸地区は全戸が流失という大きな被害に襲われた。被害戸数 482 戸、死者 221 名（行方不明を含む）、流失家屋 630 棟、茗野神社の鳥居と記念碑は倒壊して破損し、拝殿と本殿、社務所、宮司宅はすべて流失した。かろうじて神社の基礎が残っただけであり、境内も損傷が甚大であった。田植踊りに使う衣

装や笠、小道具、鈴、大太鼓など用具や器具などに関しては、社務所に保管していたためにすべてが流失した（民俗芸能学会福島調査団 2004;152）。

5. 安波祭再興

請戸の田植踊りは、震災から4か月後、被災地のなかでいち早く練習が始まり、8月にはいわき市小名浜のアクアマリンふくしまでのイベントで披露された。ここには県内外から小・中・高校生、かつて踊った経験のある社会人が集まった。なかには、「わが子の笑顔をみたのは震災後、初めて」と話し、涙ぐむ保護者もいたという。懸田氏によると「震災後いち早く復活したのは、集落がなくなったところの方が多い」という。

震災翌年の2月19日、安波祭の日に合わせて、請戸住民の多くが避難している福島市と二本松市の5カ所の仮設住宅への訪問が実現した。震災1年後の合宿練習の際、子どもたちは「請戸の友だちに会えてよかった」「避難生活を急いでいる人々に元気な笑顔を届けたい」「この踊りをずっと続け、守っていききたい」「家族と友人が亡くなったので、供養のために踊りたい」という感想を寄せており、佐々木会長は子たちの心の成長を感じたという（佐々木 2018）。

6. まとめ（東日本大震災後の請戸の田植踊り）

浪江町は、ほぼ全町が警戒区域、一部が避難指示解除準備区域とされ、全住民が県内外に避難した地域である。震災後の再興には、踊り手たちとの連絡、衣装の調達や運営資金、練習場の確保、などさまざまな難題が立ちはだかっていた。それらを乗り越え伝統の民俗芸能を存続させるためには、地域を超えた数々の支援と、それまでとは異なる担い手、それらを取りまとめる保存会の尽力によって継承されている。

7. 参考文献

懸田弘訓, 2017, 「福島県の民俗芸能の被災と再興」, 『聴く語る創る 東日本大震災記憶と伝承』, 日本民話の会, 39-50.

佐々木繁子, 2018, 「茗野神社の田植踊—東日本大震災からの復興継承活動：子どもたちに生きる勇気を—」, 福島大学地域創造, 『東日本大震災の福栄間県浜通り地方における民俗芸能の被災と復興の状況』 29 (2), 154-157.

福島県教育委員会編, 2005年, 『福島県文化財調査報告書第425集 福島の祭り・行事—福島県祭り・行事報告書—』, 福島県教育委員会.

民俗芸能学会福島調査団編, 2014, 『福島県域の無形民俗文化財被災調査報告書 2011-2013』 民俗芸能学会福島調査団.